

# 奥久慈（中山間）地域の儲かる経営体の確保・育成

県北農林事務所常陸大宮地域農業改良普及センター

担い手の減少や高齢化が進む常陸大宮市、大子町において、関係機関や先進農業者、就農支援アドバイザーと連携した新規就農希望者への就農支援や、農業後継者クラブ活動などを通じた地域リーダーの育成により、担い手の確保を図りました。

また、農業次世代人材投資事業を活用する新規就農者に対し、マンツーマン指導による経営目標の達成を支援するとともに、地域に特化した品目別講座を新規に開講し、早期の経営確立を図りました。

## 地域と連携した新規就農者の確保

関係機関や先進農業者、就農支援アドバイザーで構成する就農支援協議会では、地域農業の中核となる担い手を確保するため、体制強化に向けた会議や就農支援者向けの研修会を開催しました。

就農希望者を対象に就農相談会を開催したほか、地域の先進農業者と連携した技術習得のための就農前研修の実施について支援しました。

これにより、令和3年度は9名の新規就農者（独立自営）を確保しました。



写真1 就農支援協議会研修会



写真2 農業学園品目別講座（枝物）

## 経営者マインドをもってチャレンジする新規就農者の育成と定着

農業次世代人材投資事業（経営開始型）受給者15名を農業学園の重点対象に位置づけ、マンツーマン指導による売上・収量等の目標達成を支援しました。また、近年、イチゴ及び枝物専作経営などを希望する新規就農者が増加していることから、従来の農業学園講座に加えて、新たに2品目（イチゴ、枝物）の品目別講座を開講しました。

これらの重点的な支援の結果、11名（73%）が個別目標を達成することができました。

## 課題解決に取り組む中核経営体の育成

農業後継者クラブによる「道の駅常陸大宮」での販売活動を支援し、地元農産物PRと消費者ニーズの把握に努めました。また、後継者クラブと地元企業が連携して大豆の生産に取り組んだ結果、地元企業が求める大豆の生産拡大と納入に繋がりました。

いばらき農業アカデミーのリーダー経営者育成講座、女性経営者育成講座ではそれぞれ管内農家1名が受講し、経営に関する高度な知識を学びながら、ビジネスとして成立する経営発展モデルを作成し、現在、新たなチャレンジを始めています。



写真3 農業後継者クラブによる農産物販促活動